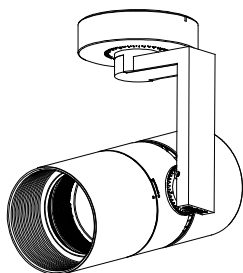


## 姿図



## 仕様

- 光源
  - 配光
  - ボディ
  - 首振り角度
  - 回転角度
  - 調光方式
  - 入力電圧
  - 入力電流
  - 消費電力
  - 専用ドライバー
  - 器具入力電圧
  - 器具入力電流
  - 質量
  - パン、チルトロック用工具付属
- LEDモジュール(兼着露)  
ナロー(N)、ミディアム(M)  
ホワイト(W)、マットブラック(M)、シルバー(S)  
上10度 下90度  
380度  
DALI制御方式(L1)  
100V±6%, 200V±6%, 242V±6% (専用ドライバー入力)  
0.213A (専用ドライバー-100V入力時)  
0.110A (専用ドライバー-200V入力時)  
0.097A (専用ドライバー-242V入力時)  
21.3W (専用ドライバーを含む、100V入力時)  
22.2W (専用ドライバーを含む、200V入力時)  
23.3W (専用ドライバーを含む、242V入力時)  
※消費電力はJIS C 8105-3の試験測定方法による  
定電流型 (50/60Hz共用)  
36.9V  
0.48A  
760g (専用ドライバー込み)

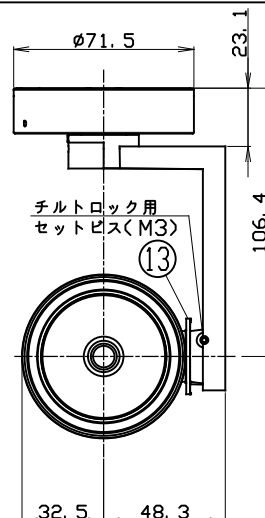
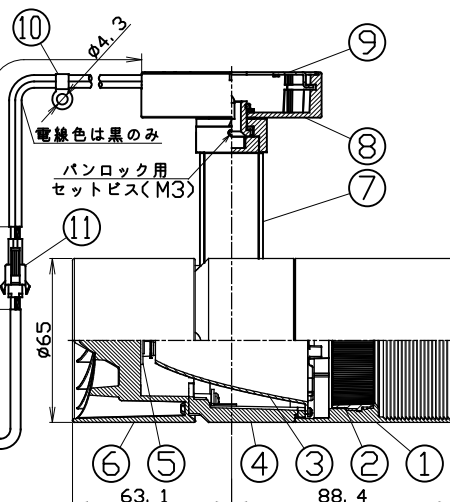
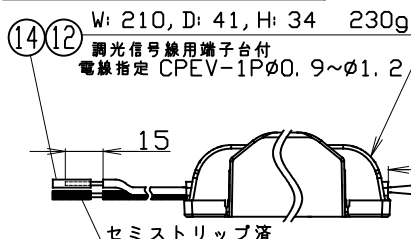
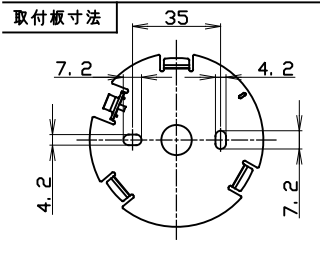
## 製品コード

MMP-080S/3H/W・M・S/FS/N・M/10B27/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/FS/N・M/10B30/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/FS/N・M/10B35/L1/1  
MMP-080S/3H/W・M・S/FS/N・M/10B40/L1/1

## オプション

フルディフューザーレンズ MLA-080/DF01  
セミディフューザーレンズ MLA-080/DS03  
フルスプレッドレンズ MLA-080/SF01  
セミスプレッドレンズ MLA-080/SS01  
エッジコントロールレンズ MLA-080/EC02  
シャープナー (N配光専用) MLA-080/SH01

## 取付板寸法

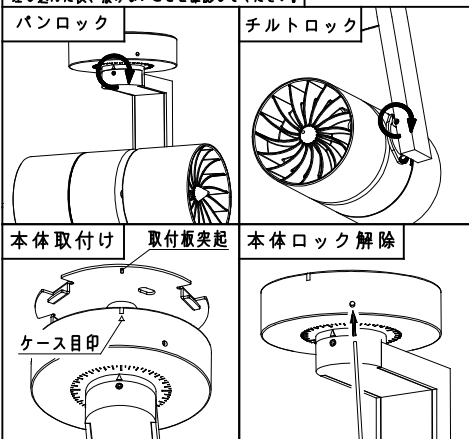
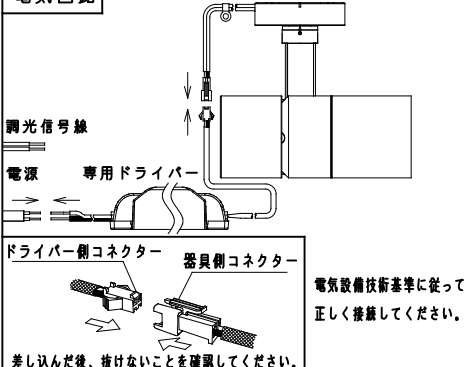


品名	材質	摘要
1 フード	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
2 オプションホルダー	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
3 リフレクター	アルミ	
4 ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
5 LEDモジュール		
6 ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7 アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8 フランジケース	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
9 取付板	鋼板	
10 セーフティクリップ	真ちゅう	
11 セーフティコネクター	樹脂	
12 電源ドライバー		DALI制御方式調光対応
13 チルトプロトラクター	樹脂	
14 入力ケーブル		白、黒 AWG16 より線1.25mm <sup>2</sup>

## ご注意

- LEDにはバラツキがある為、同一品番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対に行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 専用ドライバー(1次側)には、送端子台はありません。
- 1次側電線は、直接入力ケーブルに接続してください。
- 電気回路への接続の際は、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光にはDALIシステム調光器(Device Type6)をご使用ください。
- 器具は、照射物より0.2m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃～35℃の範囲でご使用ください。
- 不注意に器具に触れるとやけどの恐れがある為、据付・調整者以外がアームブリーチ内に寄り付けない手段を設ける、もしくは手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。
- パン、チルトがロックした状態で灯具を動かさないでください。
- パン、チルトロック用のセットビスは緩めすぎないでください。脱落し、紛失する恐れがあります。
- 取付板は下地のある場所に付属のネジ(M4)で取付けてください。
- 落下防止の為、器具側ケーブルに付属されているセーフティクリップを付属のネジ(M4)で器具から300mm以内の強固な場所に必ず取付けて下さい。
- 取付板の突起とフランジケース側面の三角印を合わせて、本体を取付板に挿入してください。

## 電気回路



- 取付板に本体を設置した後に、本体が外れないようロックがかかっていることを確認してください。
- 本体を取付板から取外す際は、フランジケース側面の孔にΦ2mm以下の棒を差込んでロックを解除してから外してください。